



短大の夏休みは、2年生は最後の保育実習に、1年生は幼稚園・保育所でのアルバイトや地域のボランティア活動への参加、また実家に帰省する学生等思い思いの夏を過ごしたようです。今回は、ボランティア活動と保育実習を終えた2年生へのインタビューを紹介いたします。

### 板倉町 『ひまわりキッズ』でのボランティア活動

9月2日(火)・9日(火)、板倉町児童館で「ひまわりキッズ」の子ども達と1年生が「アンパンマンで楽しく遊ぼう」というテーマで、手遊び・絵本の読み聞かせ・折り紙のちぎり絵・リズム体操を行いました。ひまわりキッズでの活動は3年目となりましたが、毎年異なるテーマで学生達が企画・準備に取り組んでいます。1回目の活動を通して少し改善しようと、2回目はもう少し動きのある、トンネルを作ってくる遊びやタンバリンを使ったハイタッチ・新聞遊びなどを加えました。今回のメンバーの一人は、『どのようにしたら楽しんでもらえるか、子ども達をひきつけるにはどうしたらよいかを考えるのは大変でしたが、みんなが笑顔で取り組んでくれたので良かったです』と、今後の学びにつながる結果になったようでした。



### 保育実習終了 学生インタビュー

9月1日(月)～16日(火)の11日間、2年生が最後の実習に行ってきました。2年間で5回の実習を経験し、保育者への夢へあと一歩のところまで来た2年生3人にインタビューをしてみました。



葵高校出身 沢崎 真結子さん  
大間々高校出身 大塚 若菜さん  
伊勢崎興陽高校出身 新井 里奈さん

**Q. 大変だったこと、苦労したこと** ※ 沢: 沢崎 大: 大塚 新: 新井  
沢(※): 子ども同士のケンカで、お互いが納得できるように声掛けをし仲裁することが大変でした。  
大: 日誌を書くことが一番大変でした。また、子ども達と一緒に遊ぶときに、何人もの子から「先生、あそぼ」と言われ全員とうまく遊べず大変でした。  
新: ピアノの弾き歌いが苦手で、子ども達の歌いやすいリズムで弾くことが難しく、大変でした。

**Q. うれしかったこと、子供たちに喜んでもらったこと**  
沢: 部分実習のパネルシアターで、こちらの問いかけに元気よく答えてくれたり、終わった後に「楽しかった!」と言ってくれたことです。  
大: 毎日行った手遊びや絵本の読み聞かせで、子ども達が楽しかったと言ってくれたことです。あと、最終日に子ども達から歌をプレゼントしてもらったこともうれしかったです。  
新: 子ども達が名前を覚えてくれ、「あらいせんせい」と言いながら話しかけてくれたことです。最終日に子ども達から似顔絵をもらって、とてもうれしかったです。



### Q. 実習を通して、今後・将来の目標について

沢: 実習での経験を活かして、子ども達が楽しめるような保育をしたり、子どもの気持ちを考えられるような保育士になりたいです。  
大: 今回の実習ではたくさんの課題が残りましたが、残りの学校生活で課題を克服できるよう、また実習で学んだことを活かして子ども達の気持ちをちゃんと理解できる保育者になりたいです。  
新: 実習で学んだことを活かしながら短大での学びも深め、苦手意識を無くせるようにしていきたいと思っています。